

原子力防災対策について（その6）

◆住民避難方法◆

- 原子力災害が発生し、避難の指示があった時には、原則、自家用車で指定されている避難所（青森市）へ避難してください。
- 自家用車で避難できない方には各地区の一時集合場所にバスを用意します。
※一時集合場所や避難所については全戸へ配布済みの「原子力防災ガイドブック」でご確認ください。
- 道路の寸断などにより陸路で避難できない場合は、船舶やヘリでの避難を検討します。
- 村の広報をよく聞き、指示に従って、落ち着いて行動してください。



自家用車



バス



船舶



ヘリコプター

〈問合せ先〉原子力対策課
☎（直通）33-2268

【HP】「東通村と原子力」
(<http://www.atom-higashidoori.jp/>)



今日の『ひがしどおり小話』 No.7 村にインターンシップで学生さん！Part2

村では、8月30日～9月1日までの3日間で大学生のインターンシップ実習を行いました。

インターンシップ実習を体験したのは、東通村出身（蒲野沢地区）で、現在は宮城県の大学に通う田村香衣（このえ）さん、福島県出身で同じ大学に通う佐藤舞依（まい）さん。大学で東通村の防災について研究をしているようで、防災安全課の一員として業務に従事しました。

業務内容は、9月1日の防災訓練に向けた準備・スタッフとして運営をすること。防災安全課での業務を通して東通村の防災への取組についての理解を深めることでした。

実習では、庁舎内の各課を回りどのような業務をしているのか説明を受けた後、現在建設中の古野牛川避難道を見学しました。真剣に担当職員の話聞き、積極的に質問をしていました。それ以外にも、白糠の避難施設や昨年村の消防署敷地内に設置した防災倉庫などを見学し、31日には、防災訓練に向けた準備や打ち合わせを行いました。

9月1日の防災訓練では、運営スタッフとして参加者の誘導や機材の準備などを行いました。実際に地震体験や炊き出し訓練・避難所設営訓練などに積極的に参加し、防災に対する知識だけでなく実際に行うことで、理解を深めようと頑張っている姿が印象的でした。

2人は防災訓練の記事(P4・5で掲載)も作成しておりますので、ぜひご覧ください！



建設中の古野牛川避難道を見学する田村香衣（このえ）さんと佐藤舞依（まい）さん



防災訓練の注意事項を説明する2人